

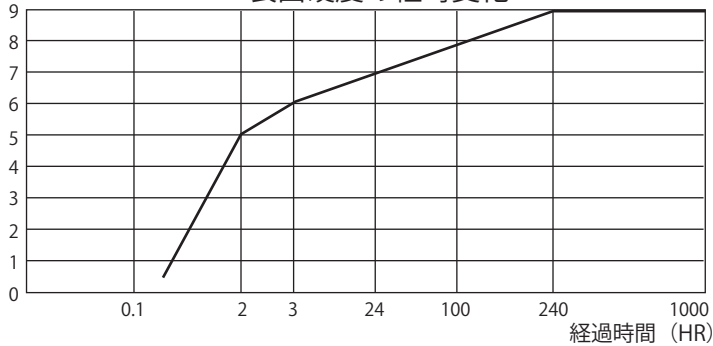
建築石材用コート剤(ヒートレスガラス)

# ガリレオ

## 石材塗布後の表面鉛筆硬度

(H) 鉛筆硬度

表面硬度の経時変化



経過時間	2時間後	3時間後	12時間後	1日後	2日後	4日後	10日後
鉛筆硬度	5H	6H	6H	7H	7H	8H	9H

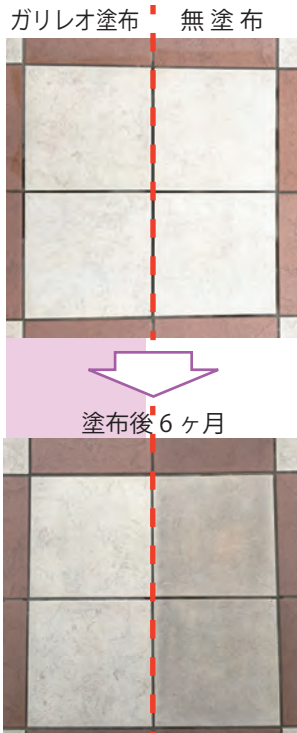
本データは、実際の処理結果を保証するものではありません。  
厚めに塗りますと、硬化時間が長くなります。  
実際の目安は、2時間で5Hとしてください。

塗布厚み：10 $\mu$ m  
塗布処理：処理方法に準ずる。  
測定方法：JIS K5400に準ずる。

## 防汚効果

### ◆拭き上げ施工(※推奨施工方法)にて

磁器タイル(床面)において、ガリレオ塗布面(左)と無塗布面(右)を設け、6ヶ月後の防汚効果を確認。無塗布面は日常清掃で取れない汚れが黒ずみとして残っているのに対し、ガリレオ塗布面は防汚性に優れた塗膜の形成により汚れが付きにくく、水拭き又は中性洗剤で汚れを取ることができるため、塗布直後と変わらない状態を保持しています。



## 付着性試験

評 点	碁盤目法	碁盤目テープ法
	10	10

塗布2日後評価

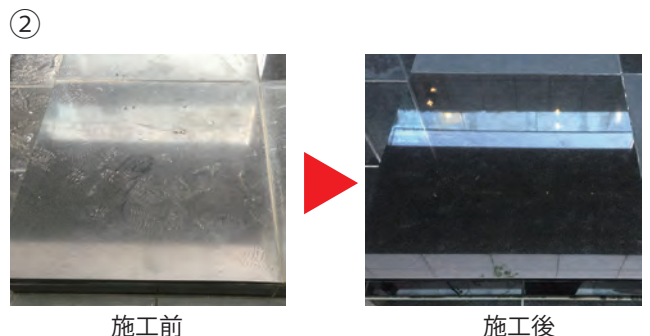
本データは、実際の処理結果を保証するものではありません。  
厚めに塗りますと、剥離しやすくなります。

基 材：御影石  
塗布厚み：10 $\mu$ m  
塗布処理：処理方法に準ずる。  
測定方法：JIS K5400に準ずる。  
(碁盤目法)

## 施工例



JR 博多駅構内





**建築石材用コート剤(ヒートレスガラス)**

# ガリレオ

最新のカタログ・施工要領書の情報はホームページをご確認ください。

 URL: [www.miyaki.com](http://www.miyaki.com)
**特 長**

- ガリレオは常温で硬化し、ガラス質の硬い塗膜を形成します。作業環境にもよりますが塗布後約1時間以内で指触乾燥し、2時間後には鉛筆硬度で5H、2日後には7Hまで硬化し、最終硬度は、塗膜の厚さにもよりますが、9Hの硬い塗膜になります。

**用 途**

- 御影石・大理石・擬石・磁器タイル・衛生陶器等の艶出し、保護及び汚れの抑制。(既に出ているエフロレッセンス(白華)は完全に止めることはできません。)

※ 対象基材の表面仕上げ・風化劣化の程度・使用目的等に応じてご選択ください。  
 ※ 本施工前に必ずテストを行ってください。詳しくは、弊社営業担当者にご相談ください。

**石材に対する効果**

- 石材の表面に硬い透明被膜を形成しますので、磨耗を抑制し、光沢の保持に効果があります。ガリレオ処理された石材はメンテナンスの負担を軽減します。
- 撥水・撥油効果があり、ジュースやコーヒー等の内部への浸透を抑制します。
- ガリレオの被膜は耐酸性・耐アルカリ性に優れ、洗剤による劣化ジミの発生、塩害や酸性雨による風化・劣化を抑制します。

**使用 方法**

いずれの施工方法におきましても、ガリレオを塗布する前に、下記①②を必ず行ってください。

- ① 施工面に汚れ・ゴミ・ホコリ・油分・ワックス等が付いているとガリレオの密着が悪くなりますので、十分に洗浄除去し、乾燥させてください。よく乾かないうちに塗布すると密着不良・変色・ムラ・白化等の原因となります。
- ② 施工しない箇所や周辺基材を養生してください。

**A: 拭き上げ施工(※推奨施工方法)**

- ① ガリレオを耐溶剤用容器に入れ、ミヤキモップ・ハンディーコーター等で石材全体にスジ目・塗りムラ・液だまりができないように均一に塗布してください。一度に大量の液を容器に移して施工すると仕上がりに差が生じる場合があります。少量ずつ容器に移して施工してください。吸い込みのある石材は、ガリレオを十分に浸透させてください。
  - ② 塗布後2~3分して、乾いたきれいなウエスでスジ目・塗りムラを残さないようにしっかり拭き上げてください。
  - ③ 塗布後、作業環境にもよりますが5~10時間は塗布面を歩行しないでください。また塗布後24時間は塗布面に水がかからないようにしてください。
- ※ 鏡面仕上げの石材及び大理石にガリレオを塗布した場合、艶落ちや、密着不良により短期間で塗膜が剥がれる恐れがありますので、必ずA: 拭き上げ施工をしてください。また塗布後乾燥前の乾拭きは、必ず塗布前の光沢に戻るまで行ってください。乾拭きが不十分だとムラになります。
- ※ 石材の種類や状況によっては、手拭きでしっかりと拭き上げを行わないとムラが生じる場合があります。必要に応じて、手拭きによる拭き上げ施工を行ってください。

**B: 拭き上げしない施工**

- ① ガリレオを耐溶剤用容器に入れ、ミヤキモップ・ハンディーコーター等で石材全体にスジ目・塗りムラ・液だまりができないように均一に塗布してください。一度に大量の液を容器に移して施工すると仕上がりに差が生じる場合があります。少量ずつ容器に移して施工してください。吸い込みのある石材は、ガリレオを十分に浸透させてください。但し、塗膜を極力薄く塗布してください。
  - ② 石材の吸い込みムラで均一な被膜ができず艶が出ないときは、すぐにガリレオをウエス等に軽く湿らせ、再度塗布してください。
- ※ ガリレオの塗膜が乾燥した後、そのまま再度塗布(2度塗り)すると部分的にハジキ・密着不良を起こす場合があります。
- ③ 塗布後、作業環境にもよりますが5~10時間は塗布面を歩行しないでください。また塗布後24時間は塗布面に水がかからないようにしてください。
- ※ 厚塗りや2度塗りをするとクラック及び密着不良を起こす恐れがあります。

**塗布後のメンテナンス**

- ① 日常管理の清掃は水拭きしてください。
- ② 水拭きで除去出来ない汚れや、定期的な清掃には弊社商品石材用洗浄剤『セラトリートメント』『アクリロンAB』又は『イシクリン』で洗浄してください。

**標準塗布量 (m<sup>2</sup>/ℓ)**

大理石・御影石(鏡面仕上げ)	30~50m <sup>2</sup> /ℓ
御影石(バーナー仕上げ・サンドブラスト仕上げ)	15~20m <sup>2</sup> /ℓ
磁器タイル(※)	20~30m <sup>2</sup> /ℓ

※ 塗布量は基材によって多少異なります。

(※) 吸い込みのあるタイルの場合は、多少塗布量が多くなります。

**使用上の注意**

揮発性の溶剤で、蒸気を吸引すると中毒を起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。

- ① ガリレオは引火性の物質です。施工要領書、使用上の注意及びSDSをよく読み、作業する時は換気を良くして火気には充分注意してください。
  - ② エアレス・スプレー・噴霧器等で絶対に施工しないでください。
  - ③ ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。基材や施工条件によってシミ・ムラ等が発生する場合がありますので本施工前に必ずテストを行い基材及び周辺基材への影響をご確認ください。
  - ④ 基材により密着しにくいものがありますので本施工前に同じ基材を用いてテストを行ってください。
  - ⑤ ガリレオは原液のままお使いください。水や異物が混入すると使用できなくなりますのでご注意ください。
  - ⑥ 施工時の適切な環境は、気温及び基材温度が15~30℃かつ、湿度が50~75%です。施工時に上記の条件を満たさない場合は、環境を改善してください。
- ※ 適切な施工条件を満たさない場合は白化・ムラ・密着不良・乾燥不十分によるべたつきが起こる可能性があります。
- ⑦ 塗布後24時間は、水がかからないようにしてください。
  - ⑧ 作業に使用した機材、容器等は溶剤・シンナー等で洗浄してください。
  - ⑨ 芝・植木・池等の近くで作業するときは必ず養生の上ご使用ください。
  - ⑩ 作業をするときは換気をよくし、必要に応じて局所排気設備のある所で作業してください。
  - ⑪ 必ず適切な保護具(保護マスク・保護メガネ・不浸透性の保護手袋・保護衣・長靴等)をお使いください。
  - ⑫ 口や目に入ったときは、速やかに十分な水洗いをし、医師にご相談ください。
  - ⑬ 手や皮膚・衣類についたときは、速やかに十分な水洗いをしてください。異常のある場合は医師の診察を受けてください。
  - ⑭ 子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
  - ⑮ 容器から出すときは、こぼさないように注意してください。一度別の容器等に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
  - ⑯ 作業の際には、飲食・喫煙等は絶対に行わないでください。
  - ⑰ 取り扱いは手洗いを充分行ってください。
  - ⑱ 用途以外には使わないでください。
  - ⑲ 施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。

- ※ 作業者及び第三者の安全確保のために必ず適切な措置をとってください。
- ※ 排水・臭い・揮発性ミスト・植物等の環境への影響について事前確認の上、必ず適切な措置をとってください。
- 製品改良のため、より適切に使用していただくため、予告なく内容を変更する場合があります。
  - ガリレオは、一般社団法人日本塗料工業会のホルムアルデヒド規制(F☆☆☆☆)登録商品です。

**性 状**

外 観	無色透明~淡黄色透明	取り扱い	火気厳禁
成 分	特殊シリコン	貯蔵性	1年(5~30℃未開封状態で保管)
溶 剤	第4類 第一石油類 危険等級Ⅱ	※ 食品衛生法・食品・添加物等の規格基準に適合	

**業務用**

1ℓ・4ℓ・15ℓ


**株式会社ミヤキ** ■ 取扱店

 本 社：福岡市中央区大手門1-2-23-1105  
 TEL 092-713-0001 FAX 092-741-8606  
 須恵工舎：福岡県糟屋郡須恵町植木1341  
 TEL 092-937-3008 FAX 092-931-8081  
 URL: [www.miyaki.com](http://www.miyaki.com)

 営業所  
 札幌、仙台、新潟、東関東、東京第一、東京第二  
 東京第三、神奈川、埼玉、静岡、名古屋、大阪第一  
 大阪第二、広島、福岡

2020.05



(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	M12012
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問い合わせ先	<a href="https://www.toryo.or.jp">https://www.toryo.or.jp</a>